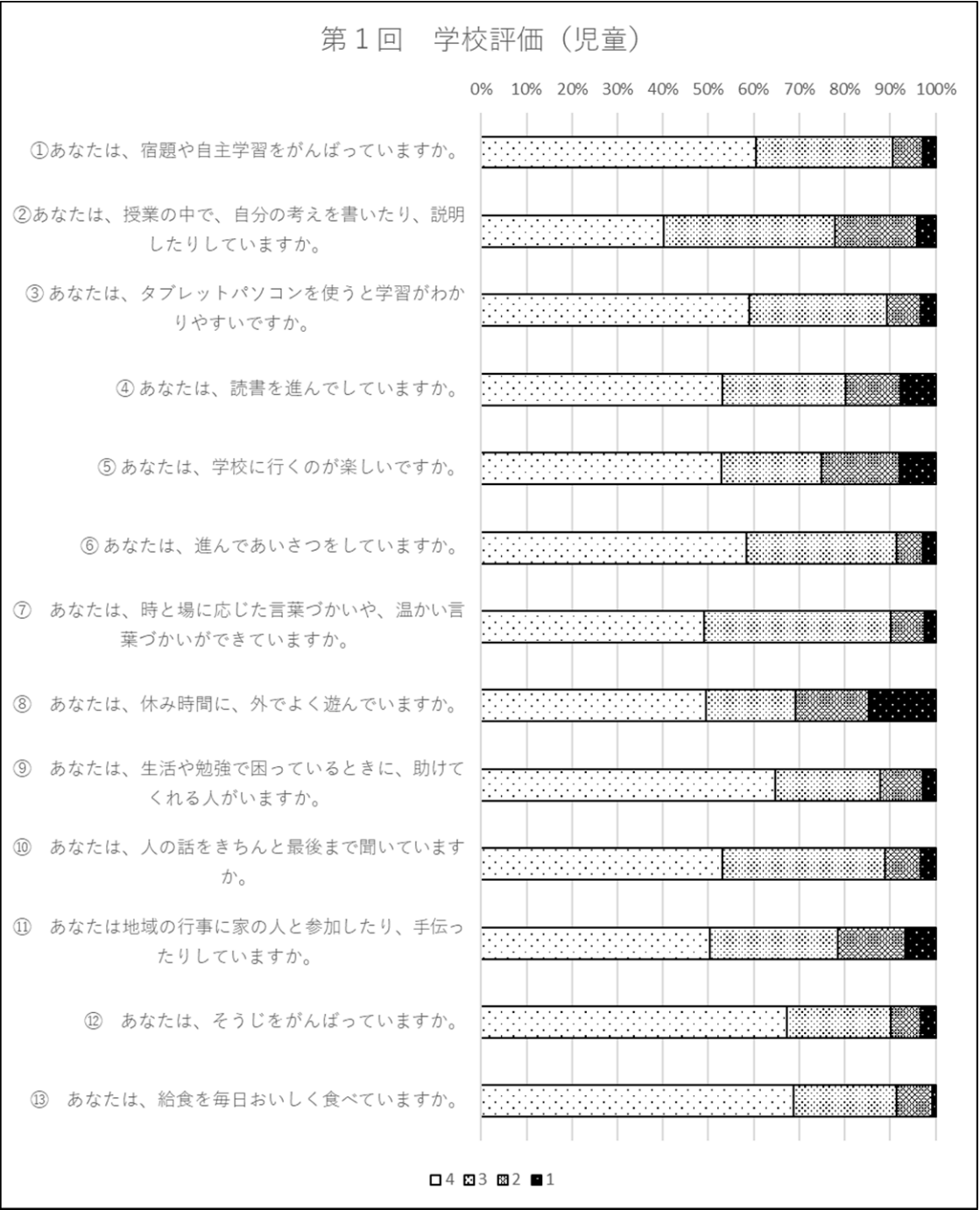


		4点満点		R7第2回比較	肯定率	
		R7第2回	R8第1回			
4 質の高い教育を みんなに	学 び	①あなたは、宿題や自主学習をがんばっていますか。	3.4	3.5	0.1	89%
		②あなたは、授業の中で、自分の考えを書いたり、説明したりしていますか。	3.2	3.1	▲0.1	78%
		③あなたは、タブレットパソコンを使うと学習がわかりやすいですか。	3.5	3.4	▲0.1	89%
		④あなたは、読書を進んでしていますか。	3.4	3.3	▲0.1	87%
		⑤あなたは、学校に行くのが楽しいですか。	3.4	3.2	▲0.2	87%
17 パートナーシップで 目標を達成しよう	心 と 体	⑥あなたは、進んであいさつをしていますか。	3.5	3.5	0.0	88%
		⑦あなたは、時と場に応じた言葉づかいや、温かい言葉づかいができていますか。	3.4	3.4	0.0	90%
		⑧あなたは、休み時間に、外でよく遊んでいますか。	3.3	3.0	▲0.3	77%
		⑨あなたは、生活や勉強で困っているときに、助けてくれる人がいますか。		3.5		
		⑩あなたは、人の話をきちんと最後まで聞いていますか。	3.4	3.4	0.0	90%
12 つくる責任 つかう責任	絆	⑪あなたは地域の行事に家の人と参加したり、手伝ったりしていますか。	3.1	3.2	0.1	77%
11 住み続けられる まちづくりを	環 境	⑫あなたは、そうじをがんばっていますか。	3.6	3.5	▲0.1	95%
		⑬あなたは、給食を毎日おいしく食べていますか。	3.7	3.6	▲0.1	95%



○「宿題や自主学習をがんばっていますか」は3.48ポイントで高い結果となった。家庭学習の習慣化が一定程度進んでいることがうかがえる。今後も家庭と連携しながら、自ら学ぶ力の育成に努めていきたい。

○「授業の中で、自分の考えを書いたり説明したりしていますか」は3.14ポイントで、前回よりやや低下した。主体的・対話的な学びの充実に向けて、児童が自信をもって表現できる場面を意図的に設定していく必要がある。

○「進んであいさつをしていますか」は3.47ポイント、肯定率88.1%と高い結果となった。本校が重点的に取り組んでいるあいさつ運動の成果が見られる。今後も地域や家庭と連携しながら取組を継続していきたい。

○「時と場に応じた言葉づかいや温かい言葉づかいができていますか」は3.37ポイントで、肯定率は90.0%となった。相手を思いやるコミュニケーション力が育まれていることがうかがえる。

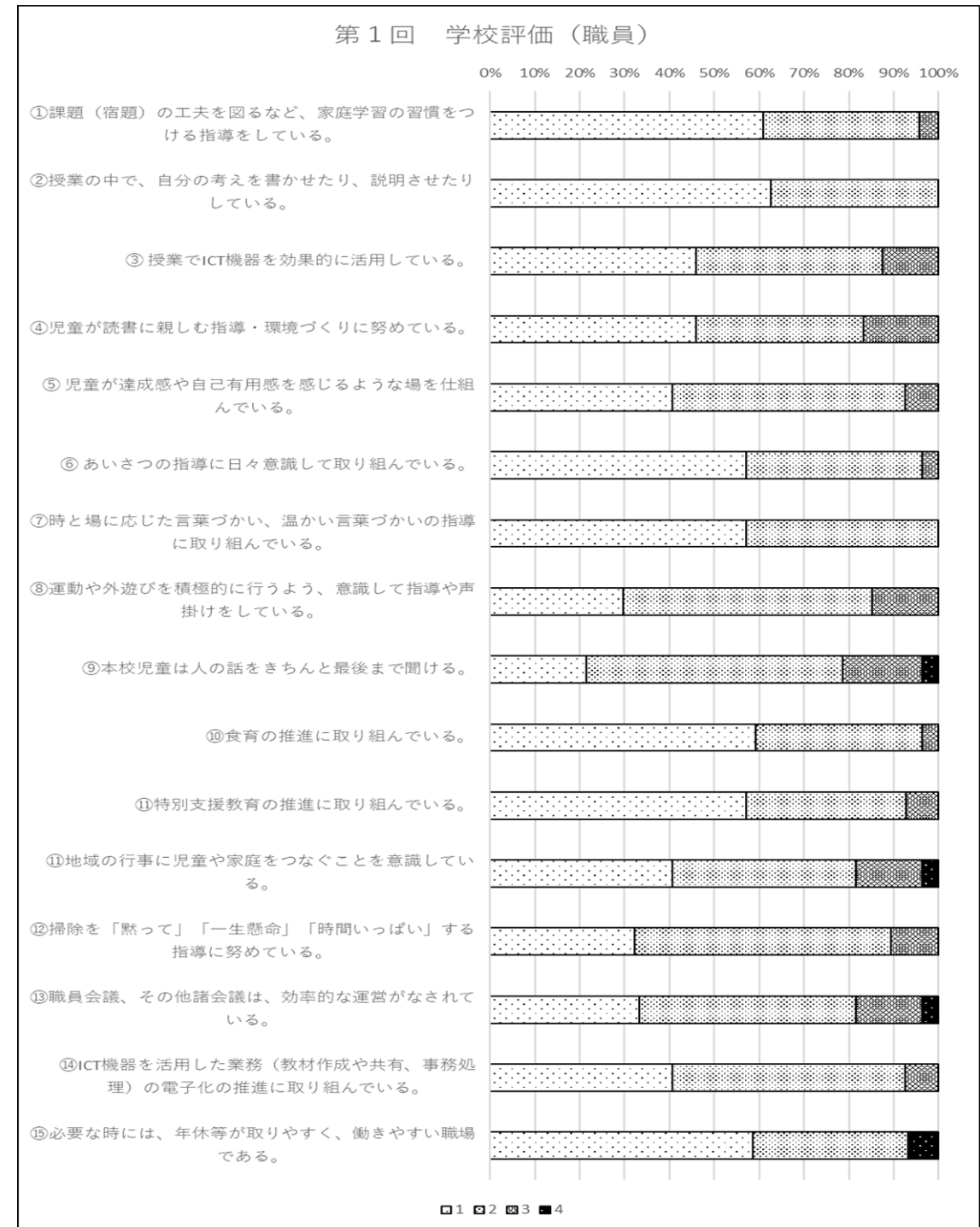
○「生活や勉強で困っているときに助けてくれる人がいますか」は3.50ポイントと高い結果であった。学校や家庭、地域の中に相談できる相手がいると感じている児童が多いことは、大きな安心感につながっていると考えられる。

○「地域の行事に家の人と参加したり、手伝ったりしていますか」は3.22ポイントで、肯定率は77.3%となった。他の項目と比較すると低い結果であり、地域とのつながりを実感できる体験の充実が課題であると考えられる。

○全体的に見ると、肯定率は多くの項目で80%以上を維持しており、本校児童は学校生活に概ね前向きに取り組んでいることが分かる。一方で、「学校が楽しい」「外遊び」「地域行事への参加」などの項目については継続的に状況を把握し、より充実した学校生活や地域とのつながりづくりに努めていきたい。

令和8年度 第1回 学校評価アンケート（職員）

		4点満点		R7第2回比較	肯定率	
		R7第2回	R8第1回			
4 質の高い教育を みんなに	学 び	①課題（宿題）の工夫を図るなど、家庭学習の習慣をつける指導をしている。	3.4	3.6	0.2	96%
		②授業の中で、自分の考えを書かせたり、説明させたりしている。	3.4	3.6	0.2	100%
		③授業でICT機器を効果的に活用している。	3.6	3.3	▲ 0.3	88%
		④児童が読書に親しむ指導・環境づくりに努めている。	3.1	3.3	0.2	83%
		⑤児童が達成感や自己有用感を感じるような場を仕組んでいる。	3.3	3.3	0.0	93%
17 パートナーシップで 目標を達成しよう	心 と 体	⑥あいさつの指導に日々意識して取り組んでいる。	3.3	3.5	0.2	96%
		⑦時と場に応じた言葉づかい、温かい言葉づかいの指導に取り組んでいる。	3.3	3.6	0.3	100%
		⑧運動や外遊びを積極的に行うよう、意識して指導や声掛けをしている。	3.1	3.1	0.1	85%
		⑨本校児童は人の話をきちんと最後まで聞ける。	2.8	3.0	0.2	79%
		⑩食育の推進に取り組んでいる。	3.5	3.6	0.1	96%
		⑪特別支援教育の推進に取り組んでいる。		3.5	3.5	93%
12 つくも責任 つくり責任	絆	⑫地域の行事に児童や家庭をつなぐことを意識している。	3.1	3.2	0.1	81%
11 日本銀行が まちづくりを	環 境	⑬掃除を「黙って」「一生懸命」「時間いっぱい」する指導に努めている。	3.1	3.2	0.1	89%
		⑭職員会議、その他諸会議は、効率的な運営がなされている。	3.3	3.1	▲ 0.2	81%
		⑮ICT機器を活用した業務（教材作成や共有、事務処理）の電子化の推進に取り組んでいる。	3.4	3.3	▲ 0.0	93%
		⑯必要な時には、年休等が取りやすく、働きやすい職場である。	3.3	3.4	0.2	93%



○「課題（宿題）の工夫を図るなど、家庭学習の習慣をつける指導をしている。」は3.57ポイント、肯定率95.7%、「授業の中で、自分の考えを書かせたり、説明させたりしている。」は3.63ポイント、肯定率100%と高い結果となった。児童の家庭学習や表現活動を支える日常的な指導が、職員の意識として定着していることがうかがえる。

○「授業でICT機器を効果的に活用している。」は3.33ポイントで、前回より0.29ポイント低下した。一方、肯定率は87.5%を維持しており、活用そのものは進んでいる。今後は、AIドリルやタブレット活用の実践例を職員間で共有し、学習効果を高める使い方をさらに広げていきたい。

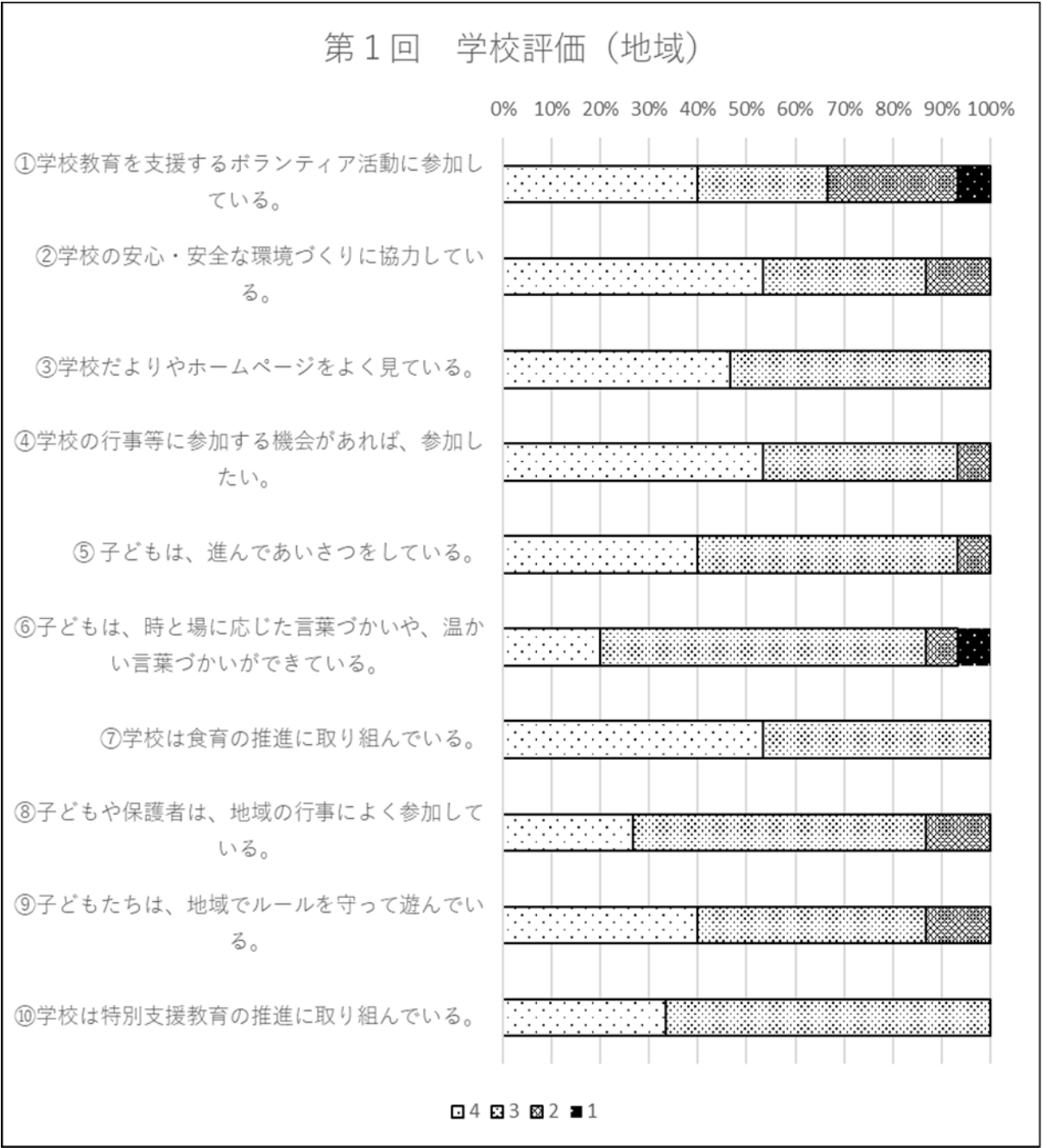
○「あいさつの指導」は3.54ポイント、肯定率96.4%、「時と場に応じた言葉づかい、温かい言葉づかいの指導」は3.57ポイント、肯定率100%と高い結果であった。児童アンケートでもあいさつや言葉づかいは高い肯定率であり、学校全体での継続的な指導の成果が表れている。

○「本校児童は人の話をきちんと最後まで聞ける。」は2.96ポイント、肯定率78.6%で、職員項目の中では低い結果となった。児童・保護者の同様の項目も大きく高いとは言えないため、授業や集会、日常生活の中で、聞く姿勢を具体的に示し、落ち着いて相手の話を受け止める力を育てていきたい。

○「地域の行事に児童や家庭をつなぐことを意識している。」は3.19ポイント、肯定率81.5%と一定の成果が見られる。地域・保護者の結果では地域行事への参加に課題が残るため、学校が地域の情報を分かりやすく届け、児童と家庭が地域に関わりやすいきっかけづくりを進めていきたい。

令和8年度 第1回 学校評価アンケート（地域）

	4点満点		R7第2回比較	肯定率
	R7第2回	R8第1回		
①学校教育を支援するボランティア活動に参加している。	3.1	3.0	▲ 0.1	67%
②学校の安心・安全な環境づくりに協力している。	3.1	3.4	0.3	87%
③学校だよりやホームページをよく見ている。	3.5	3.5	0.0	100%
④学校の行事等に参加する機会があれば、参加したい。	3.5	3.5	0.0	93%
⑤子どもは、進んであいさつをしている。	3.0	3.3	0.3	93%
⑥子どもは、時と場に応じた言葉づかいや、温かい言葉づかいができています。	3.0	3.0	0.0	87%
⑦学校は食育の推進に取り組んでいる。	3.5	3.5	0.0	100%
⑧子どもや保護者は、地域の行事によく参加している。	2.5	3.1	0.6	87%
⑨子どもたちは、地域でルールを守って遊んでいる。	3.1	3.3	0.2	87%
⑩学校は特別支援教育の推進に取り組んでいる。		3.3	3.3	100%



○「学校だよりやホームページをよく見ている。」は**3.47**ポイント、肯定率**100%**と非常に高い結果であった。学校からの情報発信が地域と学校をつなぐ有効な手段となっていることがうかがえるため、今後も行事や児童の様子、地域との連携の取組を継続的に発信していきたい。

○「学校の安心・安全な環境づくりに協力している。」は**3.40**ポイントで前回より**0.31**ポイント上昇し、肯定率も**86.7%**となった。地域の見守りや環境づくりへの協力が広がっていることが考えられる。今後も感謝を伝えながら、無理なく協力できる関係づくりを大切にしたい。

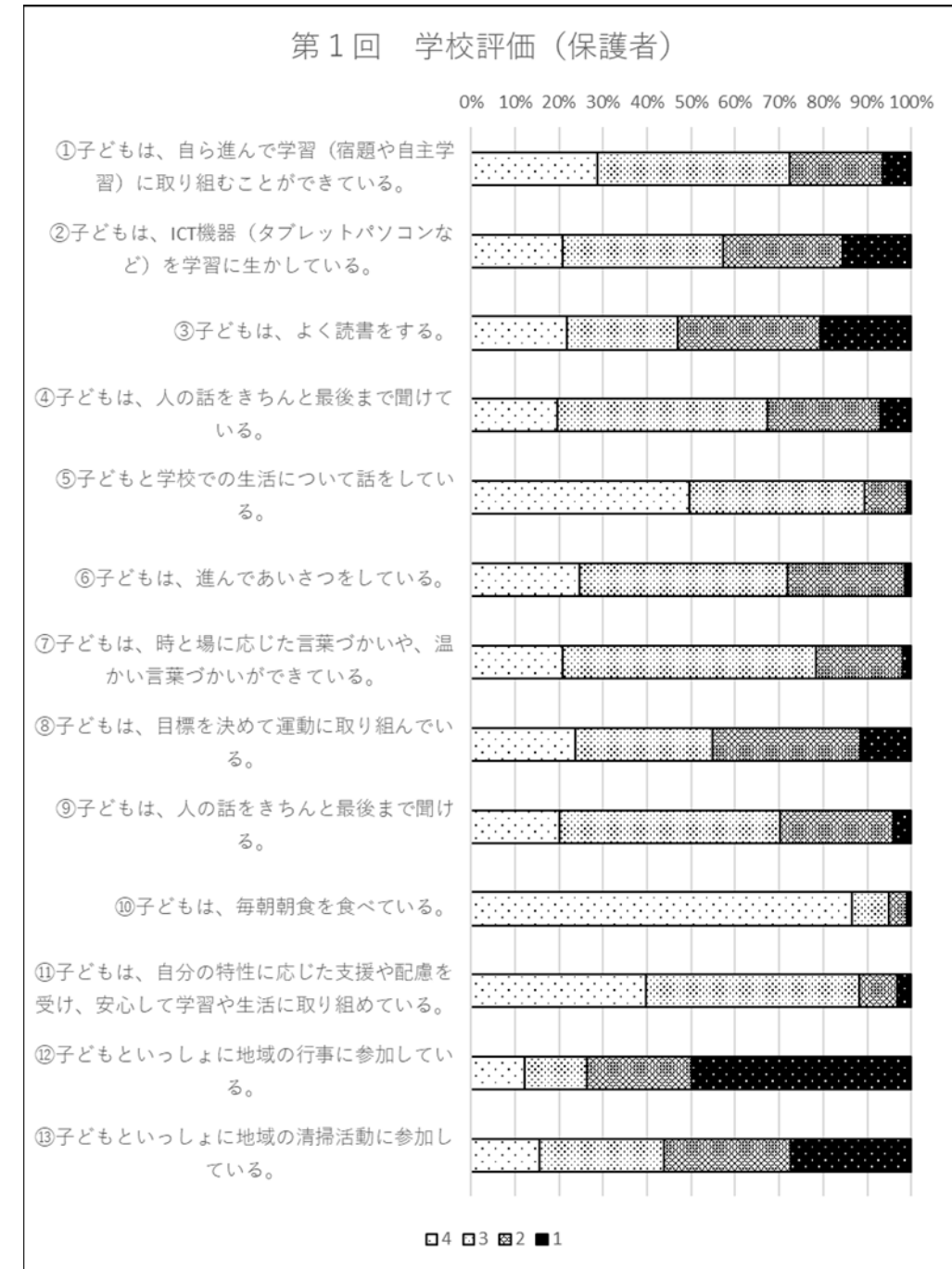
○「子どもは、進んであいさつをしている。」は**3.33**ポイント、肯定率**93.3%**で、前回より**0.33**ポイント上昇した。児童アンケートでもあいさつは高い結果であり、学校での指導が地域での姿にもつながっていると考えられる。地域の方に気持ちよくあいさつできる児童の育成を継続したい。

○「子どもや保護者は、地域の行事によく参加している。」は**3.13**ポイントで前回より**0.59**ポイント上昇し、肯定率**86.7%**となった。改善が見られる一方で、保護者アンケートでは地域行事への参加が低い結果であるため、行事の情報を家庭へ確実に届け、参加しやすい雰囲気づくりを進める必要がある。

○「学校教育を支援するボランティア活動に参加している。」は**3.00**ポイント、肯定率**66.7%**で、地域項目の中では最も低い結果だった。短時間でも参加できる活動や、初めての方でも関わりやすい役割を示すなど、学校支援に関わる入口を広げていきたい。

令和8年 第1回 学校評価アンケート（保護者）

			4点満点		R7第2回比較	肯定率
			R7第2回	R8第1回		
	学 び	①子どもは、自ら進んで学習（宿題や自主学習）に取り組むことができる。	3.0	2.9	▲0.1	72%
		②子どもは、ICT機器（タブレットパソコンなど）を学習に生かしている。	2.8	2.6	▲0.2	57%
		③子どもは、よく読書をする。	2.5	2.5	0.0	47%
		④子どもは、人の話をきちんと最後まで聞いている。	2.9	2.8	▲0.1	67%
		⑤子どもと学校での生活について話をしている。	3.4	3.4	0.0	89%
	心 と 体	⑥子どもは、進んであいさつをしている。	3.0	2.9	▲0.1	72%
		⑦子どもは、時と場に応じた言葉づかいや、温かい言葉づかいができている。	3.0	3.0	0.0	78%
		⑧子どもは、目標を決めて運動に取り組んでいる。	2.8	2.7	▲0.1	55%
		⑨子どもは、人の話をきちんと最後まで聞ける。	2.9	2.9	0.0	70%
		⑩子どもは、毎朝朝食を食べている。	3.8	3.8	0.0	95%
		⑪子どもは、自分の特性に応じた支援や配慮を受け、安心して学習や生活に取り組んでいる。		3.2	3.2	88%
	絆	⑫子どもといっしょに地域の行事に参加している。	2.4	1.9	▲0.5	26%
	環 境	⑬子どもといっしょに地域の清掃活動に参加している。	1.9	2.3	0.4	44%



○「子どもと学校での生活について話をしている。」は3.38ポイント、肯定率89.4%と高く、家庭で学校生活について話題にする機会が概ね確保されていることがうかがえる。児童が安心して学校生活を送る土台として、今後も家庭との連携を大切にしていきたい。

○「子どもは、毎朝朝食を食べている。」は3.80ポイント、肯定率95.0%と最も高い結果であった。基本的な生活習慣が家庭で支えられていることが分かる。学校でも食育や生活リズムの指導を継続し、家庭と連携して健康な生活づくりを進めていきたい。

○学習面では、「自ら進んで学習に取り組む」は2.94ポイント、肯定率72.4%、「ICT機器を学習に生かしている」は2.62ポイント、肯定率57.4%、「よく読書をする」は2.48ポイント、肯定率47.0%であった。児童アンケートの学習面より低い項目もあり、家庭での姿と学校での姿に差が見られる。自主学習や読書、ICT活用のねらいを家庭に分かりやすく伝えていきたい。

○「目標を決めて運動に取り組んでいる。」は2.67ポイント、肯定率54.8%で、やや低い結果となった。児童アンケートでも外遊びの項目は他と比べて低めであるため、体育の授業や休み時間、家庭での声かけを通して、体を動かす楽しさや目標をもつよさを感じられる取組を進めたい。

○「子どもといっしょに地域の行事に参加している。」は1.88ポイント、肯定率26.3%と低く、前回より0.53ポイント低下した。一方、「地域の清掃活動に参加している。」は2.32ポイント、肯定率43.9%で前回より0.44ポイント上昇している。地域とのつながりを広げるため、学校だより等で地域行事や清掃活動の意義を伝え、家庭が参加しやすい情報提供を行ってきたい。